



甲斐初狩
白羽園宗雄輯



山井 詰

余病ありて曲時良おもく公
ししとてその年ありてち子
以乃り併子ありて世ありて
四子河原ありて薬をいひて
幸よありて而也し現故をい
てち子ありてち子ありて
幸よありて而也し現故をい

夏乃母圃一さ一むあうが

仙白

常飛中多田子日ハあうが

五虫

子麻少子日カも礼あう 西早

方舟

新乃屋一山田子舊乃乃あうが

茂林

白田子伐跡一様うが

梅虫

鈴那中本海子之カ楽扇子

玉葉

美一ハ流心あうが 夏少

云云

あうが 鈴人あうが 桜桐葉

羽鯉

少くもつて世の中をうらやまは 寫眞人

右 初釋社友

松乃ふ衣あき草のかくまらり 可休

生木

替りかゝるんをていし雲雀が 波車

一耐、松をゆか一たるか 烟の南 一指

草地

日代やまを端の田井子あ勢帰 抱流

御と扉や南を親をきり花山より 磯道

甲府

川をさかして境をくまよふまらら 五政

川中流くはるる有る

有隣

人たきまのきかす梅の輪のき

一葉

烟

終子啼やまきく

金井

地御

去りゆや日さるハ一す

武二子

暮

新ゆきそ葉の花くく

卒

武長路や日くを一日啼

徐風

しららの葉やじん小葉を

之

舟より中おしこして葉とあう如 志老

あつて思ふと急中ひくく子つとれりり 下段 弄花

高拂や嬉若めちあうあがり 上段 大治

昔清み夏あうき麗多れあうき 上段 三瓦

嬉松りちまきき中かたきら 信長 其明

泥あや中苗をもてあくくの西 古澤

美い中遠くをともとさあうり書 勢力 其扇

舟の尾羽しきあうりく子ぬりり 斗晏

竹九子をわさるゝかゝてや先をさす

江都

祝急

ひらひらや鶯印乃かゝも花乃山

泉之

招明をゆ半を執りて大半に

西和

春の九母ちゝ結業る子りり

吳川

春の九母ちゝ結業る子りり

招龍

侍乃取乱しゝるる花見に

金鼓

うぐしと散子喰まらりりるる糸

松子

柳梅をうらりる日子見付りり

磯南

三日月ちりし縁口初乃風中

忌衛

高き山志を初

志屋

ぬきかきや控り居るに

左 智光

大空へおておるりや

大牛

がささうし信也書目

百切

しるし

字石

夏茶や神さう

松多造

甲午晩夏

